

編集後記

研究調査部報第7号をお届けします。

たしか漫画「ちびまる子ちゃん」だったと記憶していますが、違っているかもしれません。父親が小学生の時に書いた夏休みの日記を発見した主人公、毎日「きのうと同じ」という一文が記されているのを見て、「つまんねーの」と感じつつ、「これは使える」と思ってニヤリとするといったストーリーでした。

まる子ちゃん式でいけば、この編集後記も「去年と同じ」で済んでしまいます。論説・教育実践・授業評価の原稿が少ないこと、執筆者の方々に校正等でご無理を強いる結果になったこと、等々、去年と同様にお詫びしなければなりません。また、研究調査部長の多忙さも去年と変わりません。いや、去年に増して忙しくなっています。いつもその超人的な仕事ぶりに感嘆している私は、先日、彼の口から「オーバーワーク」という言葉が発せられたのを聞き、やはり彼も人間だったのだと、妙に感心してしまいました。

これも去年の編集後記に書きましたが、研究調査部がしている仕事は、教育と研究の合間になしうるものではありません。これまでに実施してきた種々のアンケートに関しても、分析等は不十分なままです。現在、研究調査部では教養教育のカリキュラムの刷新について検討中ですが、各学部・学科の現状、同様の見直しを行っている他大学の実態など、情報の不足が議論の制約になっています。そもそも教養教育にとどまらず、金沢大学の教育と研究の充実・発展を考えれば、大学教育に関する情報の収集はもとより、現状の点検・評価に至るまで、それを専門に行う組織の必要性は明白です。そうした意味で、「大学教育開発・支援センター」新設の概算要求が認められそうだというのは朗報です。これまでの研究調査部の活動がセンター新設に貢献したかどうかは不明ですが、自分たちの努力が無駄でなかったという思いはあります。

センター設置にともなって研究調査部がどうなるのか、まだよく分かりません。あるいは「発展的廃止」になるかもしれません。とすれば、研究調査部報もこれが最終号。もっと格調ある文章にすべきであったかと反省しながら筆を擱きます。

(矢淵孝良)

金沢大学教養教育機構研究調査部報 (第7号)

平成 14 年 9 月

発行 金沢大学教養教育機構研究調査部

Research Section of Liberal Arts and Science Organization

Kanazawa University

〒920-1192 金沢市角間町 (総合教育棟)

TEL (076) 264-5753

FAX (076) 234-4170

印刷 田中昭文堂印刷株式会社